

□はリンク ※はWAMNETの事業者情報にリンク

事業所名 グループホーム八幡の里	
日付	2008/12/2
評価機関名	特定非営利活動法人 高齢者・障害者生活支援センター
評価調査員 介護支援専門員 認知症ケア専門士 社会福祉主事 介護福祉士	
自主評価結果を見る	
評価項目の内容を見る	
事業者のコメントを見る（改善状況のコメントがあります！）※	

2. 評価結果（詳細）

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
	認知症や障害を持つ高齢者を中心に心がこもった介護サービス・接遇に努め、入居者様とご家族が安心して穏やかに生活していただける居住環境の提供とさまざまな活動を通じて地域にひらかれたグループホームを目指しています。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
	入居の際には新しい家具ではなく家で使っていた馴染みのもののあるものを持ってきてもらい、安心しかつ安全に生活できるように支援している。入居者の目の高さで使いやすいように設置して、足を伸ばしてくつろげる空間には畳を設置している。 食事や文化活動などの時間をスタッフだけではなく他者とも共有するようにしている。		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人ですることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

1. 評価結果の概要

講評
全体を通して（特に良いと思われる点など）
・ 近くに公園・神社・小学校・スーパー等があり、買物や散歩にも便利で、生活しやすい環境に立地している。
・ 医療法人が母体のため、緊急時迅速に対応がしてもらえるので、入居者・ご家族も安心して穏やかに生活できている。
・ 今年度より新しい取り組みとして、3つの委員会(介護技術、感染・防災、事故防止)を設置して、サービスの質の向上への意識づけや問題に対して周知徹底を図っている。今まで出来ているからこれでよい考えるのではなく、何か一つ前向きに成長したいと頑張っている。目標管理シートを作成して、職員が上司と面談する機会を設けて、スキルアップに繋げている。
・ ご家族との連絡は毎月「八幡通信」とお知らせの中に個別に入居者様の日常の生活状態を手書きして送付している。
・ 地域での行事に参加したり、ホームでのお祭りや健康教室に地域の方に参加してもらい、交流を図っている。
・ 本人の出来る手伝いや買物、様々な行事などに参加させてもらい、また健康管理もよくしていただき家族で喜んでいてという声もある。
特に改善の余地があると思われる点

III ケアサービス（つづき）

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にした整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
	生活歴の把握や普段の何気ない会話の中などから、何かをしたいという思いを聞き取り、出来る限り日常生活に取りいれるようにして、個人個人の意思を尊重したケアに努めている。 又日常の会話や記録物についてはプライバシー保護の為に配慮し、守秘義務にも力を入れている。		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。		
	カンファレンスや勉強会、グループ内での研修会を行い、問題があれば、スタッフ・ケアマネと話し合い解決に努めている。また今年より介護技術・身体拘束、感染・防災、事故防止委員会を設置し、その中でスタッフ一人ひとりがサービスの質の向上への意識づけや問題に対する周知徹底を図っている。		